

2018年1月29日

～ アフラックとアソシエイツ（当社販売代理店）が全国各地で展開 ～ 今年で24年目！「アフラックのバレンタイン献血」

アフラック（日本における代表者・社長：古出 眞敏）は、毎年2月を「バレンタイン献血月間」として、当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会」（以下、アソシエイツ会）と共同で、全国各地で献血ボランティア活動を行っています。本活動は1995年にスタートして以来、毎年継続的に実施しており、今年で24年目を迎えます。

【アフラックのバレンタイン献血 開催概要】

(1) 東京	2月8日（木）	新宿三井ビル	（9：30～16：00）
	2月15日（木）・16日（金）	調布アフラックスクエア	（9：30～16：30）
(2) 大阪	2月15日（木）	淀屋橋センタービル	（10：00～16：30）
	(3) その他	全国各地のアソシエイツ会にて適宜開催	

「アフラックのバレンタイン献血」は、1995年の阪神淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動で、今年で24年目を迎えます。

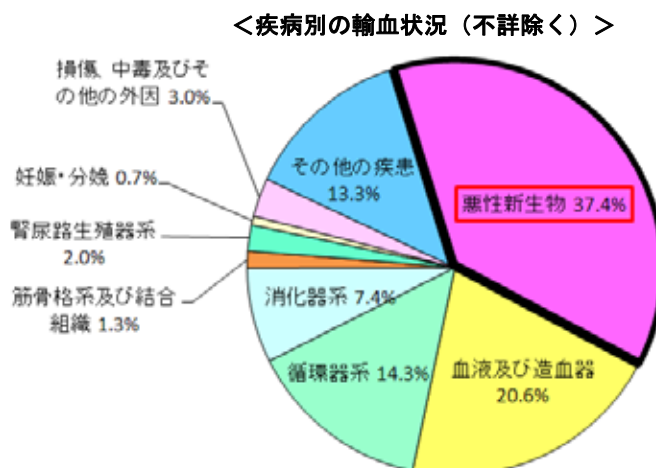
冬期、特に2月は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため年間で最も血液が不足する時期であり、こうしたことから、アフラックでは毎年2月に「特定の人だけではなく、多くの人に『愛』を贈ろう！」との思いを込めて、この活動に継続的に取り組んでいます。



▲ 献血ボランティアの様子（2017年）

この活動は、アフラックの毎年恒例のボランティア活動として社員やアソシエイツに広く定着しており、昨年は約1,200人、累計では2万6,000人を超えるアフラック関係者が参加しています。

なお、日本赤十字社に集められた輸血用血液の3割以上は「がん（悪性新生物）」の治療に使われており（円グラフ参照）、「生きる」をメインテーマとした当社の社会貢献活動とシナジーの高いボランティア活動となっています。



出典：東京都福祉保健局「平成28年輸血状況調査集計結果」から抜粋

当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長を目指し、社会と共有できる価値の創造（CSV[※]経営）に努めていきます。

※CSV:Creating Shared Value